資料	3

東京2020オリンピック聖火リレーの聖火ランナー募集概要、聖火リレールート概要等について

1　概要

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、6 月 1 日に東京2020オリンピック聖火リレーに関する聖火ランナー募集概要、聖火リレールート概要等について公表した。(別紙参照)

都内では、7月10日から24日までの間に全62区市町村を巡る予定であり、聖火ランナーの選出、ルートの設定等については、東京都に設置された東京都聖火リレー実行委員会が中心になって検討しているところである。

2　中央区の走行日、ルート等の検討状況

（１）走行日

令和2年（2020年）7月21日（火）（都内巡回の12日目）

（２）走行ルート

詳細な走行経路は2019年の年末ごろに発表予定

（３）セレブレーション会場（予定）

区立浜町公園（中央区日本橋浜町二丁目59番1号）

※セレブレーションとは、1 日の最終市区町村で最終聖火ランナーの到着を祝うイベントのこと

3　東京都聖火リレー実行委員会によるランナー募集

（１）募集期間

令和元年（2019年）7月1日～8月31日

※聖火ランナーの発表は令和元年（2019年）12月以降の予定

（２）応募要件

・平成20年（2008年）4月1日以前に生まれた方

・東京都にゆかりがある方

※地域で活動している方を中心に選定

（３）募集に関する詳細情報

東京都聖火ランナー選考事務局

URL　http://www.tokyo-runner.jp/

4　本区の今後の対応

（１）聖火リレー実施に伴う区民生活や事業活動への影響を極力少なくするよう、都等に働きかけていく。

（２）本区における聖火リレーの成功に向け、都等に協力するとともに、セレブレーションや沿道応援への区民参加を進めていく。

別紙

PRESS RELEASE

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
<Tokyo 2020.NEWS-2019-143>
2019 年 6 月 1 日

東京 2020 オリンピック聖火リレー
聖火ランナー募集概要・聖火リレールート概要・聖火ランナーユニフォームを発表！

東京 2020 組織委員会は、本日 6 月 1 日（土）に東京 2020 オリンピック聖火ランナー募集概要・東京 2020 オリンピック聖火リレールート概要・東京 2020 オリンピック聖火ランナーユニフォームを以下のとおり発表しました。

□ 『東京 2020 オリンピック聖火リレー 聖火ランナー募集概要』

■聖火ランナー公募にご応募いただける方

＜主なポイント＞
●2008 年 4 月 1 日以前に生まれた方
●国籍・性別は問いません
●走行を希望する各都道府県にゆかりがある方

「聖火ランナーの基本応募要件」と「応募に当たっての主な注意事項」は以下のとおりです。
※詳細は、各応募先（東京 2020 オリンピック聖火リレープレゼンティングパートナー4 社および東京 2020 オリンピック聖火リレー各都道府県実行委員会）が今後随時発表する聖火ランナー募集要項でご確認ください。

＜聖火ランナーの基本応募要件＞
聖火ランナーにご応募いただくためには、以下の基本応募要件を満たす必要があります。
・2008 年 4 月 1 日以前に生まれた方とします。ただし、2020 年 3 月 1 日（聖火リレー開始月の初日）時点で、18 歳未満の方は保護者の同意が必要です。
・原則として、走行を希望する各都道府県にゆかりがある方（現時点または過去に居住していたことがある方、現時点で所属している職場や学校がある方、家族や親戚が居住している方、過去に活動したことがある方など）とします。
・国籍・性別は問いません。
・自らの意思で火を安全に運ぶことができる方とします。ただし、介添えスタッフ（介添者）のサポートは必要に応じて可能です。
・政治的・宗教的メッセージを伝えることを目的とする方は、聖火ランナーになることはできません。
・公職選挙法に規定する公職にある方（国会議員、地方公共団体の議員・首長）、公職の候補者や候補者となろうとする方、政党や政治団体の党首およびこれに準ずる方は聖火ランナーになることはできません。
・宗教家が、宗教上の実績で評価されて聖火ランナーになることはできません。

＜聖火ランナー応募に当たっての主な注意事項＞
・私的な宣伝・PR 行為はできません。
・1 名ごとにご応募ください。複数人が連名で応募することはできません。
・聖火ランナーは、東京 2020 組織委員会が支給するユニフォームを着用し、走行していただきます。
・1 名あたりの走行距離は、約 200m です。（200m を上回る場合や、満たない場合もありますので、ご了承ください。走行速度は、ご自身のペースでゆっくり走る程度です。）
・聖火ランナーとして決定した方の走行日時・走行場所は、東京 2020 組織委員会が別途指定します。なお、島しょ部などを含む様々な場所が指定される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
・車いす等の走行に必要な機器・器具が必要な場合は、ご自身で手配をお願いします。
※車いすに聖火リレートーチを接続するアタッチメントは、東京 2020 組織委員会にて手配します。
※単独走行が困難な方は、介助者を 1 名付けていただくことが可能です。
※必要に応じて、身体障がい者補助犬とともに走行することができます。
・落選された方への落選通知は行いません。

■聖火ランナー応募方法

※詳細は、各応募先が今後随時発表する聖火ランナー募集要項をご覧ください。
＜聖火ランナーの応募先＞
東京 2020 オリンピック聖火リレープレゼンティングパートナーである「日本コカ･コーラ株式会社」、「トヨタ自動車株式会社」、「日本生命保険相互会社」、「日本電信電話株式会社（NTT）」の 4 社と「各都道府県実行委員会」から応募可能です。
※応募期間は以下のとおりです。
●6 月 17 日（月）～8 月 31 日（土）日本コカ･コーラ株式会社
●6 月 24 日（月）～8 月 31 日（土）トヨタ自動車株式会社、日本生命保険相互会社、日本電信電話株式会社（NTT）
●7 月 1 日（月） ～8 月 31 日（土）各都道府県実行委員会
・応募は、各応募先に 1 回ずつ、最大 1 人 5 回可能です。「複数のプレゼンティングパートナーへの応募」、「プレゼンティングパートナーおよび都道府県実行委員会への同時応募」が可能です。但し「複数の都道府県実行委員会への応募」はできません。
・複数の応募先に応募いただいた場合でも、複数の応募先から聖火ランナーとして選出されることはありません。走行できるのは１回のみです。

■聖火ランナー決定までの流れ

各応募先（プレゼンティングパートナー4 社および都道府県実行委員会）が、応募者から提出された事項を基に、下記に記載する「聖火ランナー選定の基本的な考え方」に沿って選考を行い、東京 2020 組織委員会に候補者を推薦し、東京 2020 組織委員会が聖火ランナーを決定します。
なお、聖火ランナーの決定発表は、2019 年 12 月以降に実施します

■聖火ランナー選定の基本的な考え方

対象：全ての人々
・国籍、障がいの有無、性別、年齢のバランスに配慮しながら、幅広い分野から選定し、開かれたリレーとする
・地域で活動している人を中心に選定

<u>復興・不屈の精神（支えあう心）</u>
●日々の生活の中でも、家族、仲間、同僚などお互い支えあって、諦めずにどんな困難にも立ち向かう人
〈例〉復興のために、地域コミュニティ再生に多大な貢献をした人

<u>違いを認めあう包容力（認めあう心）</u>
●様々な人々との違いを認めあいながら新たなものに取り組んでいる人
〈例〉様々な個性の子どもたちのためのスポーツコミュニティを作り、多くの人が集う地域の拠点を作った人、地域の人と移住者をつなげて、新たな地域ブランド構築に貢献した人

祝祭による一体感（高めあう心）
●ランナーとして走ることで、地域の一体感を高めあう事ができる人
〈例〉地域の伝統文化活動を縁の下で支えている人

□　『東京 2020 オリンピック聖火リレー　ルート概要』

■日本全国の多くの方々が聖火リレーをご覧いただけるルート

＜857 市区町村で聖火リレーを実施＞

日本全国 47 都道府県を回る東京 2020 オリンピック聖火リレーは、2020 年 3 月 26 日福島県・ナショナルトレーニングセンターJ ヴィレッジでスタートした後、日本全国 857 市区町村で実施されます。オリンピックの象徴である聖火は、121 日間をかけて日本全国を巡ります。
※詳細は別紙の「各都道府県ルート概要一覧」をご参照ください。
※実施市区町村数は、市町村と特別区の合計数となります。

＜人口カバー率　約 98%＞

聖火リレー実施市区町村と､そこから車･電車などの交通手段で 1 時間以内に移動できる距離の人口は、日本の人口の約 98%。日本全国多くの方々が沿道に応援に行くことができるルートです。

■日本各地の魅力あふれる場所を訪問するルート

世界遺産や名所・旧跡・地域の人に愛されている場所など、各地域の魅力あふれる場所で聖火リレーを実施します。121 日間の聖火リレーを通じて、日本各地の魅力を国内外に発信していきます。
また、東日本大震災をはじめ、災害からの復興に向けて歩みを進めている場所でも聖火リレーを実施します。
※道路レベルの詳細な走行経路については、引き続き、都道府県実行委員会と調整し、今年の年末ごろに発表する予定です。

□　『東京 2020 オリンピック聖火リレー　聖火ランナーユニフォーム』

■デザインコンセプト

「Hope Lights Our Way　（英語）　/　希望の道を、つなごう。（日本語）」という東京 2020 オリンピック聖火リレーのコンセプトに基づき、リレーらしさ、日本らしさとともに、東京 2020 大会との連続性を重視しています。

東京 2020 オリンピック聖火リレーは、古代オリンピアから、東京 2020 オリンピック競技大会開会式まで一つの聖なる火をつないでいくものです。
本デザインは、一人一人の聖火ランナーによって紡がれた 1 本の希望の道が、聖火によって照らされ、オリンピック本番へ向かっていく様を、胸の中央にあしらった東京 2020 オリンピック聖火リレーエンブレムを起点に、大会ルックの市松模様を介して、背中のオリンピックシンボルにつなげることによって表現しています。
斜めがけのデザインは､神事に起源を持ち､日本で開催されるリレーで伝統的に使用される襷（たすき）をモチーフとし、日本らしさと同時に聖火リレーに対する敬意と大会成功への祈念を込めています。

■デザイン監修

尾花　大輔（おばな　だいすけ）
1974 **年** 1 **月** 28 **日、神奈川県生まれ。**
古着屋からキャリアをスタート。ショップマネージャーやバイヤーを経験の後、自身のブランドである N.HOOLYWOOD **を設立。**
2002 **年 コレクションの発表を皮切りに、東京コレクションに参加し、現在ではニューヨークへ発表の場を移す。ファッションのみならず、多岐にわたるコラボレーションを手掛ける世界的に活躍する一人。**
古い伝統や価値を大切にしながら、新しい価値観を導きだすことを得意とする。

＜コメント＞
聖火リレーとは、それぞれの方のいろいろな思いと一緒に「繋いでいく」リレーと解釈しております。
そして、この日本では「復興五輪」というテーマを大切に掲げ、被災地からのスタート。
おそらく、日本に届くまでの聖火には、世界の皆さんからも、励ましや激励などの思いも一緒に届くと思います。
このユニフォームのデザインには、日本古来の和装や駅伝などでも使われる襷をモチーフに、世界と人々の思いを「繋げる襷」という、大きな役割が込められています。

■持続可能性への配慮について

東京 2020 **オリンピック聖火リレーランナーのユニフォームには、コカ･コーラ社の協力により、同社内で回収した** PET **ボトルをリサイクルした素材を用いています。**

※実施区市町村とその順番、セレブレーション会場など下記の記載内容については、今後変更となる可能性があります。

東京２０２０オリンピック聖火リレー　都内実施区市町村とセレブレーション会場			
	実施日	実施区市町村	セレブレーション会場
1日目	7月10日（金）	世田谷区⇒狛江市⇒稲城市 ⇒町田市	町田シバヒロ（町田市）
2日目	7月11日（土）	多摩市⇒日野市⇒昭島市 ⇒八王子市	富士森公園（八王子市）
3日目	7月12日（日）	檜原村⇒奥多摩町⇒日の出町 ⇒青梅市⇒瑞穂町	瑞穂ビューパーク競技場（瑞穂町）
4日目	7月13日（月）	羽村市⇒あきる野市⇒福生市 ⇒武蔵村山市⇒立川市	TACHIKAWA STAGE GARDEN（立川市）
5日目	7月14日（火）	国立市⇒国分寺市⇒小平市 ⇒東大和市⇒東村山市	国立療養所多磨全生園（東村山市）
6日目	7月15日（水）	清瀬市⇒東久留米市⇒西東京市 ⇒小金井市⇒府中市	東京競馬場（府中市）
7日目	7月16日（木）	調布市⇒三宅村⇒神津島村 ⇒新島村（新島・式根島） ⇒利島村⇒大島町	仲の原園地（大島町）
8日目	7月17日（金）	御蔵島村⇒八丈町⇒青ヶ島村 ⇒小笠原村（父島・母島） ⇒三鷹市⇒武蔵野市	武蔵野陸上競技場（武蔵野市）
9日目	7月18日（土）	杉並区⇒中野区⇒練馬区	練馬区立練馬総合運動場公園（練馬区）
10日目	7月19日（日）	豊島区⇒板橋区⇒北区⇒足立区	東京都中央卸売市場足立市場（足立区）
11日目	7月20日（月）	葛飾区⇒江戸川区⇒墨田区 ⇒荒川区	南千住野球場（荒川区）
12日目	7月21日（火）	台東区⇒文京区⇒千代田区 ⇒中央区	中央区立浜町公園（中央区）
13日目	7月22日（水）	江東区⇒大田区⇒品川区	しながわ中央公園（西側広場）（品川区）
14日目	7月23日（木）	目黒区⇒渋谷区⇒港区	港区立芝公園（港区）
15日目	7月24日（金）	新宿区	ー
見どころ			

東京都は、大会の直前、開会式当日までの１５日間にわたって、全６２区市町村で聖火リレーを実施します。１９６４年の東京オリンピックの会場であった世田谷区・目黒区の駒沢オリンピック公園中央広場からスタートし、前半の7月１７日までは、主に多摩地域と島しょ地域でリレーを実施します。7月１８日から最終日までは、区部で聖火リレーを実施し、全国１２１日間に及ぶ聖火リレーは東京都庁でゴールを迎えます。
前半は、豊かな自然と都市の利便性を備えた多摩地域を巡ります。街の再生が進む多摩ニュータウンが広がる南多摩から、広大な山林が広がり、多摩川などの清流が流れる西多摩を巡り、丘陵などの自然が住宅地の近隣に広がる北多摩の各地を走行します。
また、伊豆諸島から世界自然遺産に指定されている小笠原諸島まで、それぞれ景観や海洋資源、特産品など素晴らしい「宝物」が存在する、島しょ地域全ての町村を聖火が訪れます。
後半は、日本の経済・商業の中心地である銀座や日本橋、最先端の繁華街である六本木、高層ビルが立ち並ぶ新宿など、区部の様々なスポットを巡ります。